

医療の質の評価・臨床評価指標

患者満足度「全体としてこの病院に満足していますか？」（入院）

分子：分母のうち、「非常に満足している」または「やや満足している」と回答した入院患者数

分母：入院患者への満足度調査項目「全体としてこの病院に満足していますか？」の設問有効回答数

	2022年度	2023年度
分子	151	148
分母	174	160
当院満足度（%）	86.8	92.5
赤十字病院グループ平均値（%）	88.1	86.1

患者満足度「全体としてこの病院に満足していますか？」（外来）

分子：分母のうち、「非常に満足している」または「やや満足している」と回答した外来患者数

分母：外来患者への満足度調査項目「全体としてこの病院に満足していますか？」の設問有効回答数

	2022年度	2023年度
分子	428	478
分母	513	395
当院満足度（%）	83.4	82.6
赤十字病院グループ平均値（%）	80.8	79.2

転倒・転落「入院患者での転倒転落発生率」

分子：入院中の患者に発生した転倒・転落件数

分母：入院患者延べ数（人日）

	2022年度	2023年度
分子	892	842
分母	182,312	176,943
当院発生率（‰）	4.89	4.76
赤十字病院グループ平均値（‰）	2.52	2.53

入院患者の転倒転落は、患者が自立的に活動される限り、完全に防ぎきれものではありませんが、骨折や内出血などをきたすことがあり、『発生率』を少しでも減らすために各施設で努力を続けています。要因としては、環境の変化や疾患、治療、手術などに起因するものなど様々です。これらの要因に対し、インシデント報告を分析し、環境の整備や患者の行動を予測した未然防止につなげます。

インシデント・アクシデント①「1 か月間・100 床当たりの インシデント・アクシデント発生件数」

分子：調査期間中の月毎のインシデント・アクシデント発生件数 × 100

分母：許可病床数

	2022年度	2023年度
分子	27,375	22,667
分母	599	599
当院発生件数	45.7	37.8
赤十字病院グループ平均値	36.0	37.5

インシデントは比較的軽い、影響度（前項参照）の小さい事故、アクシデントは影響度の大きい事故をさしています。広義の医療事故とは過誤の有無に関わらず、患者や医療者に何らかの被害を与えたあるいは与える可能性のある有害事象をいいます。インシデント・アクシデントが生じてしまった場合は、原因を調査し、再発防止策を早急にとることが重要となりますが、そのためにはインシデント・アクシデントをきちんと報告することが必要となります。本指標は『発生件数』とありますが、正確には『報告件数』です。『報告件数』は多い方が医療安全への意識が高いと評価されていまして、「多い方がよい」と考えられており、「事故が多い」こととは意味合いが違ふことに注意が必要です。また、施設ごとに報告基準が異なり、施設間の比較は難しいのが現状です。

インシデント・アクシデント②「全報告中医師による報告の占める割合」

分子：分母のうち、医師が提出したインシデント・アクシデント報告総件数

分母：調査期間中の月毎のインシデント・アクシデント報告総件数

	2022年度	2023年度
分子	79	82
分母	3,425	2,848
当院割合（%）	2.3	2.9
赤十字病院グループ平均値（%）	4.7	4.1

インシデントは比較的軽い、影響度（前項参照）の小さい事故、アクシデントは影響度の大きい事故をさしています。広義の医療事故とは過誤の有無に関わらず、患者や医療者に何らかの被害を与えたあるいは与える可能性のある有害事象をいいます。インシデント・アクシデントが生じてしまった場合は、原因を調査し、再発防止策を早急にとることが重要となりますが、そのためにはインシデント・アクシデントをきちんと報告することが必要となります。

一般に医師からの報告が少ないことが知られており、この値が高いことは医師の医療安全意識が高い組織である可能性があります。病院の規模や機能により、発生率が異なることもあり、施設間の比較は難しいといえます。